

## 圏外のアンテナ

[ぬい撮り]の巻

最近「ぬい撮り」が、ちょっとしたブームである。

「ぬい」を「脱い」と脳内変換して、焦っちゃった方は、ご安心を。「ぬい」は「ぬいぐるみ」の略で、ぬいぐるみを主人公にした写真のことだから。

昨年、タカラトミーアーツが専用のお人形「ちょっこりさん」シリーズを発売したあたりから、一躍ブームに火が付いた感じ。

この「ちょっこりさん」は、ディズニーやスターウォーズなどのキャラの人形で、身長は10cmくらい。一見、どこにでもありそうな人形なのだが、両手を前に出して、ちょこんと腰掛けたような体型が特徴。手にお菓子や花などを持たせることができ、ポーズも決めやすい。つまり、今流行りのインスタ映えする写真が撮りやすいわけである。

では実際、どのくらい多くの人が？というわけで、インスタグラムで「#ぬい撮り」ハッシュタグがついた写真を数えてみると、約40万点もの投稿が見つかった。

先月、雪の鳥取砂丘に出掛けてぬい撮りしてきた同世代の友人は、ただの風景写真がイキイキしちゃって驚いたという。顔の角度を変えると人形の表情が変わるのが面白かったという。

彼女によると、ぬいぐるみを預かって旅に出るNPO法人もあるらしい。事情があって旅行に行けない人にとって、自分の分身であるぬいぐるみが旅を楽しんでいる写真は、きっと癒しになるのだ。何だか、目からウロコな話であった。

さて、ここまで書いて、わたしもぬい撮りに挑戦！「ちょっこりさん」は持っていないので、手持ちの人形を持参して、梅まつりたけなわの湯島天神へ。

ところがこれが、実に恥ずかしい。痛い人だと思われたらどうしよう？とビクビクして、人が通るたびに、人形を胸元に隠す。臆病な不審者そのもの。

そう。流行にのるためには、他人の視線に動じない勇気が必要なのだった。

=2018年3月9日掲載=



春の嵐で満開の梅が散った、湯島天神の山門